

★ドアノックのマナー★

2021年の幕が明けました。昨年の元旦にはNYに滞在していたのが嘘のよう。1年でこれほど世界情勢が変化した年はなかったのではないのでしょうか。個人的には海外へ気軽に行けなくなった寂しさを執筆活動に向け、なんと！このコラムがついに本として出版されることになりました。続報をお楽しみに。

さて、新年初めてのコラムは「ドアノックのマナー」。ドアといえば、昨年末アメリカでかなり大きなニュースになっていたのがユタ州の砂漠で偶然見つかった謎の金属柱。3・6メートルもの金属製の三角柱が発見されて大騒ぎになり、またそれが1週間後には忽然と跡形もなくなったのですから大変。ドアにもモノリス*にも見えるその物体は地下に深く埋まっている部分もあり、ほとんど人間の力では動かせない物なので、UFO説や、NYチェルシーの美術館にある金属の彫刻にも似ている

ことからは芸術作品？という説もあり、大きなミステリーになっています。ドアは次への世界の扉を開く物なので、「ドラえもん」のどこでもドア*しかり、私たちの空想を大いに膨らませてくれるものですね。

さて、ドアはノックするのがマナーといわれていますが、皆様は何回ノックをしますか？

国際プロトコルでは回数までは定義づけられていませんが、2回はトイレのノック、3回は親しい人へのノック、4回がビジネス上のノックというのが海外のマナーでしょう。ただし日本では入室の際のノックは3回というのがいつの間にかマナーとして定着しています。

トイレでノックをされた側はどうすれば良いのでしょうか？

決まっているわけではありませんが



右 / Paris 空港のトイレ。この形だと使用中かどうか分からないので2回ノック(ただし、明らかに使用中のときはノックをしない心遣いを)
左 / Holiday シーズンの華やかなドアリース。リースには「幸運を呼ぶ」意味があります

Mina

せんが、日本では通常はトントんとノックし返します。海外では「Occupied」(使用中)と言うのが普通。飛行機の中のトイレも鍵が空いていれば緑色でVacancy(空き)、閉まっていれば赤色でOccupiedと表示されます。握り拳の甲で軽く叩くのが良いですね。

ドアを開けたらそこは時空を越えた別な世界……？ 今年ドアはどんな世界に繋がっているのか予想もつきません。皆様どうぞ良い1年を！



ながくぼ みな (有)ミナ・コーポレーション 代表取締役 & マナーコンサルタント
長久保 美奈

東北学院大学英文科卒。㈱JAL 国際線で世界21カ国を乗務後、米ワシントンDCに居住。大使館関連のサークル等で国際基準のマナーを学ぶ。日本帰国後に仙台で起業し独自の視点でファーストクラスの接客術、マナーリングを確立。日本では各法人企業、医療機関、大学等で年間260を超える講演や研修の講師としてトップレベルの接遇を指導。2020年ミス Earth Japan マナー講師。仙台市在住。
ホームページ www.mina-corp.com



似ていると言われる彫刻家ジョン・マクラッケンの作品 (NY チェルシーの画廊)。ただし、砂漠に突き刺さって発見されたものはもっと巨大で、リベットもあり、違う

※ 有名な SF 小説、映画 2001 年宇宙の旅 (アーサー・C・クラーク、スタンリー・キューブリック) に出てくる象徴的な石柱状の物体で地球外知的生命体の道具。